拠出金名:西アフリカ諸国経済共同体拠出金

国際機関等名	西アフリカ諸国経済共同体 (英文名称・略称) Economic Community of West African States (ECOWAS)					
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	○その他		
所轄官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局アフリカ第一課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単位	金額				拠出率(%) (注)	ODA率(%)
	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート		
平成18年度	4,860	43,784		1\$=111円	(2006年)調整中	100
平成17年度	5,350	50		1\$=107円	(2005年)調整中	100
平成16年度	5,500	50		1\$=110円	(2004年)調整中	100
拠出上位5ヶ国・機関				国際機関等の財政 (2005年度決算)		
	国名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 113,684,371ドル		
1位	EU	2,809	21.9	当該年度の支出 58,688,041ドル		
2位	デンマーク	2,172	16.9	次年度への繰越 54,996,330ドル		
3位	カナダ	348	2.7	会計検査機関名		
4位	ギリシャ	323	2.5	調査中		
5位	スウェーデン	200	1.5	(現在の構成員の出身国:)		
上記の率及び順位は2004年のもの						
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
西アフリカ15カ国が加盟するECOWASは、リベリア、コートジボワールの紛争等に関し、域内の平和と安定の確保に向けた積極的なイニシアティブを発揮し、国際社会からも高い評価を受けている。我が国は2002年に小泉総理が発表した「我が国の対アフリカ協カイニシアティブ」において、アフリカ地域機関を通じた平和の定着支援を表明したのをはじめとして、2006年5月の小泉総理のアフリカ訪問でも小型武器対策を含むアフリカにおける平和の定着支援を表明しており、ECOWASの平和の定着努力にも注目している。G8はじめ国際場裡においてもECOWAS支援が重要視されている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
域内経済統合の推進という設立当初の趣旨のみならず、発展には地域の平和と安定が不可欠であるとして、紛争解決関連分野での活動を強化。99年に採択された「紛争予防・管理・解決・平和維持・安全保障メカニズム」に基づき、紛争予防を目的とした「監視センター」の立ち上げや、予防外交の機能を担う長老会議の設置、「平和の基金」の設立等、紛争防止のための体制の整備を推進中である他、ECOWAS待機軍の設立を打ち出した。また、98年に設置された小型武器軽火器に関するモラトリアムを2006年6月のECOWAS首脳会議にて条約化。さらに同月、バマコにECOWAS小型武器管理プログラムを正式に発足させるなど、小型武器対策に向けて取り組みも本格化させている。また、2007年1月、機関の機能向上のため組織改編を行い、これまでの事務局を、チャンバス委員長及び7名の委員からなる委員会へと改変した。						
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち 0人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		0人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職員氏名		備考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。